昭和58年11月15日　第305号

広報えびな

市の木つげ　市の花さつき

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31－2111（代）／〒243-04　毎月1日・15日発行

市民憲章
きまりをまもり
親しみ助け合い
ましょう

太古のロマンを公開

「海老名の遺跡」展、15日から温故館で

◇　◇　◇

海老名市は相模国分寺に象徴される歴史の古い所だというのはご存知のことと思います。しかし、それよりももっと古い約二万二千年前の先土器時代から近世までそれぞれの時代の遺跡があることを知っている方は少ないのではないでしょうか。市教育委員会では、今月十五日から来月四日まで、海老名市温故館で「海老名の遺跡」展を開催します。この機会に古代のロマンにふれてみてはいかがですか。本紙では「海老名の遺跡」を紙上公開します。

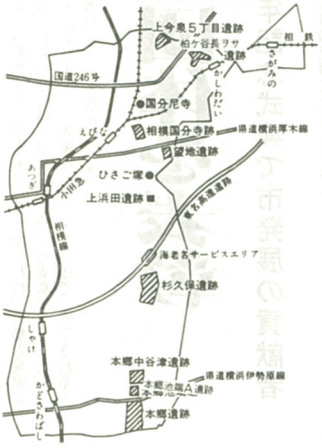
◇　◇　◇

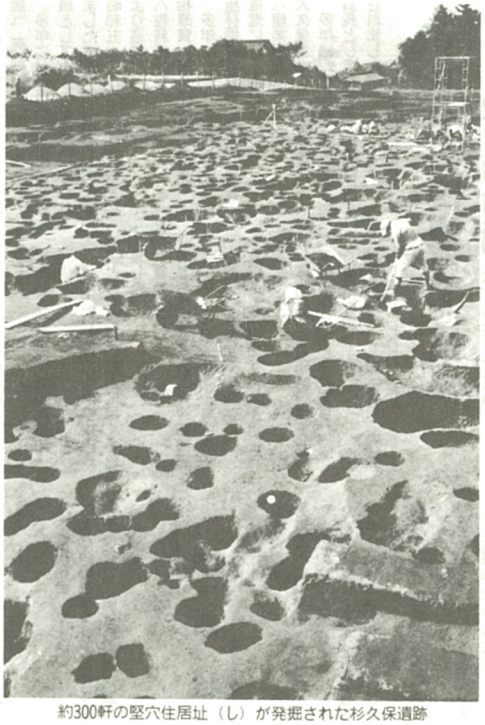
6遺跡を紹介

海老名市は、相模川の東側に沿って南北に長く伸びている相模野台地が多くをしめています。この相模野台地には、大昔から私たちの祖先が住んでいたことが知られています。

昭和四十年代から、工場の進出や宅地造成が活発になり、文化財保護法に基づく、発掘調査が市内各地で行われるようになりました。今回公開されるのは、これらのうち本郷遺跡、杉久保遺跡、上浜田遺跡、望地遺跡、柏ケ谷長ヲサ遺跡、上今泉五丁目遺跡（左図参照）などです。

市内の代表的な遺跡




約300軒の竪穴住居址（し）が発掘された杉久保遺跡

本郷遺跡

場所は、本郷字柳下地区で、富士ゼロックス工場の敷地内にあります。発掘調査は、同工場の進出に伴ない昭和四十六年一月から始められ、現在も継続整理中です。なお、県道を挟んだ北側に本郷中谷津遺跡、本郷池端A遺跡があります。

本遺跡からは、縄文時代中期末から弥生時代、古墳時代、奈良・平安時代までの遺物が発掘されました。

縄文時代からは竪穴住居址（し）一軒と土器・石器数点が出土しています。弥生時代・古墳時代からは、約百三十軒の竪穴住居址と十八の方形周溝墓が発掘され、集落を営んでいたことがわかります。

これらの土器とともにまつりに用いられたと思われる小銅鐸（たく）一個が出土したのが注目されます。銅鐸は近畿地方を中心に多く出土する弥生時代のつりがね形の青銅器。本郷で発掘されたものは、高さ約八㌢ですが、大きいものは一㍍を超えるものがあります。従来の発掘例は、住居址以外の場所で偶然に発掘されることが多かったのですが、本郷では住居址から出土した大変珍しい例です。

奈良・平安時代からは、約二百五十軒の竪穴住居址と三十棟ほどの掘立柱の建物が発掘されています。出土品は、土器・陶器、鉄製品など。

杉久保遺跡

場所は、杉久保字中原及び富谷（とみやと）地区で、海老名サービスエリヤの南側です。この地区に住宅開発が行われるため、昭和五十五年七月から今月まで発掘調査が行われました。

本遺跡には、縄文時代中期から後期にかけての集落があり、約三百軒の竪穴式住居址、約二百基の土壙（こう）墓が発掘されました。出土品ははっきりと形がわかる土器が約五百点、そして多数の石器が発掘されました。この他に古墳時代の横穴墓六基が発掘されています。

上浜田遺跡

場所は、現在の浜田町で、発掘当時は、大谷字上浜田・上打越地区です。この地区で住宅開発が行われるため、昭和四十七年十一月から十二月にかけて第一次調査が、昭和四十八年七月から昭和四十九年三月にかけて第二調査が行われました。

本遺跡からは、先土器・縄文時代、古墳時代・奈良・平安時代、中世、近世の遺物が発掘されています。先土器時代の遺物は少なく、確実な物はナイフ形石器一点です。縄文時代からは土壙三基が発掘されるとともに、縄文早期から後期までの土器片三千二百九十五点、石器三百八十三点が出土しました。

古墳時代のものは、現在、三塚公園として保存されている二立柱建物址群と各種陶磁器類が出土しています。この掘立柱建物址は、昭和五十六年十月に「上浜田中世建築遺構群」として県の遺跡に指定されました。市ではこの地区一帯の三千九十五平方㍍を「浜田歴史公園」として保存しています。近世の遺物は、陶磁器などの生活用具が出土し、民家があったと思われます。

望地遺跡

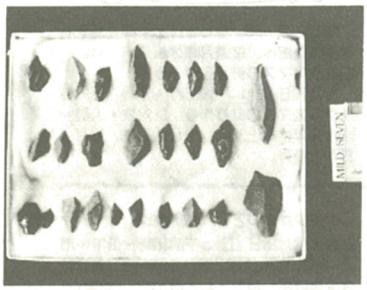
場所は、望地字道下（しも）地区です。県営団地が造成されるため、昭和五十七年一月から三月にかけて第一次、昭和五十八年二月から三月にかけて第二次調査が行われました。

本遺跡からは、奈良・平安時代の竪穴住居址の発掘とともに、土器、石器、鉄製品などが出土しています。

柏ケ谷長ヲサ遺跡

場所は、柏ケ谷字長ヲサ地区で、相鉄線かしわ台駅の北東側にあります。宅地造成が行われるため、昭和五十六年四月から昭和五十七年十月にかけて発掘調査が行われました。

本遺跡からは、約二万二千年前から約一万年前までの先土器時代の石器、縄文時代早期から中期にかけての土器、石器が出土しています。先土器時代の石器は一万点を超え、特に約一万八千年前から約一万九千年前までの地層に限れば、約三千点出土し、この時代では質・量とも日本一ではないかと言われています。


柏ケ谷長ヲサ遺跡からはナイフ形石器が多数出土した。右上角にあるのが、国府（こう）型ナイフ形石器。

これらの石器の中に、西日本の遺跡で多く出土する「国府（こう）型ナイフ形石器」の特徴を備えた石器一点があります。この発見で、先土器時代の技術・文化の東西交流が実証できるため、学会でも注目されています。

縄文時代からの出土品は少なく、早期初頭の土壙一基と土器片、石器が数点だけです。

上今泉5丁目遺跡

場所は、秋葉山古墳群の北側で、住宅開発が行われるため、昭和五十七年七月から九月にかけて調査が行われました。本遺跡からは、竪穴住居址二軒、土壙六基のほか縄文前期から中期にかけての土器片約四千点、石器約七十点が発掘されました。

温故館特別展
海老名の遺跡
入場無料

とき　11月15日～12月4日（月曜休館日）午前9時～午後5時
ところ　市温故館（海老名駅から徒歩10分。または国分寺台バス行「国分」バス停下車、真ん前。☎33・4028）
内容　市内の遺跡から出土した石器、土器や写真パネルなど約500点
主催　市教育委員会

30人、4団体を表彰

市制12周年記念式典で市発展の貢献者

十二月一日、市役所内の議場で「市制施行十二周年記念式典」が行われ、市勢の発展に尽くされた方々が表彰されました。表彰の内訳は、功労表彰四人、一般表彰二十五人と四団体（一法人を含む）、感謝状一人の計三十人（一人重複受賞）・四団体で、表記される方々の氏名（名称）・事績は次の通りです。―敬称略・順不同

□功労表彰

△自治振興△
大野新一（中新田・67歳）
昭和三十八年十月から海老名町議会議員および海老名市議会議員として十五年余の長きにわたり市政の発展に尽くされました。

大野さん

武井平八郎（本郷・56歳）、大久保壽孝（国分・65歳）、大坂城二（国分寺台一丁目・40歳）
昭和四十六年十月から海老名町議会議員および海老名市議会議員として十二年の長きにわたり市政の発展に尽くされました。

大阪さん

大久保さん

武井さん

市長から表彰される被表彰者

□一般表彰

△自治振興△
尾山永吉（大谷・57歳）、鴨志田米男（門沢橋・56歳）、高橋一雄（杉久保・58歳）、深瀬守（上郷・55歳）、山田光太郎（中新田・55歳）、山田光太郎（中新田・52歳）、高野釟郎（国分・47歳）
多年にわたり海老名市議会議員として市政の発展に尽くされました。（なお、山田光太郎氏は昭和五十八年四月十二日逝去により追贈）

△税務行政△
相原賢太郎（門沢橋・67歳）
多年にわたり海老名市固定資産評価審査委員として税務行政の推進に尽くされました。

△産業振興△
大久保壽孝（国分・65歳）
多年にわたり海老名市商工会会長として商工業の振興に尽くされました。

尾山佳年（大谷・71歳）
多年にわたり海老名市畜産組合組合長などを務め畜産業の振興に尽くされました。
高橋定雄（杉久保・62歳）
海老名市園芸協会役員などとして園芸技術の向上に尽くされ、勝田園芸賞を受賞するなど本市の農業振興に寄与されました。

△教育振興△
湯沢俊之（厚木市・61歳）
鴨下俊孝（中新田・57歳）
多年にわたり市内小中学校の校長などとして教育の向上に尽くされました。
塩脇舜（上今泉二丁目・59歳）
多年にわたり市内小学校の教頭などとして教育の向上に尽くされました。
石塚章子（中新田・58歳）、黒沼トシ（厚木市・57歳）
多年にわたり市内小学校の教諭として教育の向上に尽くされました。
出町昭（福島県伊達郡川俣町・56歳）
多年にわたり市内中学校の教諭として教育の向上に尽くされました。

△環境美化△
海老名市地域婦人団体連絡協議会、柏ケ谷自治会第一町内会、中新田連合自治会衛生委員会、池田キミ（東柏ケ谷六丁目・71歳）
多年にわたり市内公共施設の美化清掃に尽くされました。

△福祉振興△
椋野喜博（上今泉二丁目・65歳）
多年にわたり保護司として地域環境の浄化や青少年の自立更生に尽くされました。
宇田浩（中河内・68歳、加藤田正美（上今泉四丁目・63歳）
多年にわたり民生委員推薦委員として、適正な民生委員推薦のために尽くされました。

△徳行模範△
井尾修子（国分・56歳）
多年にわたり病床に伏す家族の介護をなされ、また一人暮らし老人の昼食慰労会の開催、老人ホームの慰問など徳行の模範となられています。
中野トミ（河原口・65歳）、左藤栄（門沢橋・47歳）
多年にわたり病床に伏す家族の介護をなされています。

△消防行政△
清水国好（中野・48歳）
多年にわたり海老名市消防団の団長などとして消防行政に協力し、市民の安全に寄与されました。

△寄付△
厚木信用組合（厚木市）
市社会福祉事業費として多額の寄付をし、福祉の振興に協力されました。

□感謝状

△教育振興△
野崎秀一（秦野市・60歳）
市内中学校の校長として、また中学校校長会会長として教育の向上に尽くされました。

9月分の医療費を通知

12月初旬、国保医療世帯に

市では、十二月初旬に国民健康保険加入世帯のみなさんへご一家の医療費の内容をお知らせすることになりました。

これは、ご一家の健康度のチェックと健康に対する認識を深めていただくためのもので、今年九月中に国民健康保険で受診された世帯に医療費（十割分、ただし、保険が適用されないものは含まれません）の額などをお知らせするものです。みなさんが医療機関で支払われた額はこのうち三割で、残り七割は国民健康保険で支払っています。

医療費が年々増加の一途をたどっている現在、みなさん一人一人の日ごろの健康管理と病気にかかった場合の適正な受診が必要となっています。

医療を受けるときは、次のことに注意をし、みなさんが負担した保険税と国・県・市からの補助金とでまかなわれている医療費が有効に使われるよう心がけてください。

○診療を受けるときは必ず保険証を提出してください。
○急病以外は診療時間内で受診してください。
○交通事故で保険証を使ったときは市役所保険年金課へ届け出てください。
○病院などを転々とするのは、一貫した治療が受けにくくなり、病気の回復を遅らせることになりかねません。かかりつけの医師、病院などを選ぶようにしてください。

問い合わせは、保険年金課。

情報コーナー

市役所　ところ　〒243-04 海老名市国分155　もしもし　31・2111(代)

◆体育施設59年2・3月分の抽選会

▷受付時間・場所＝次の①②とも午後6時から6時半まで（時間厳守）、市立中央公民館　▷持参するもの＝印鑑、ボールペン

①学校体育施設　12月7日（水）
▷内容＝全日の日程調整　▷対象＝学校開放施設登録団体

②下今泉庭球場　12月19日（月）
▷内容＝全日の抽選　▷対象＝高校生以上市内在住、在勤、在学者
▷問い合わせ＝社会教育課。

◆テニスコート利用上の注意（運動公園）

現在、市では運動公園のテニスコート周辺を工事しており、コートを利用されるみなさんにはご迷惑をかけていますが、工事現場は危険なので入らないようお願いします。

なお、駐車場は河原側ですので、その他の場所に駐車しないよう、また、その他のコート利用許可条件を守られるようお願いします。許可条件を守られない場合、利用を中止することもあります。

▷問い合わせ＝社会教育課。

◆源泉所得税の納付はお早めに

従業員などから徴収した源泉所得税は、納期限内に税務署に納付することになっていますが、最近この納付が遅れぎみの事業所が少しずつ増えています。

源泉所得税を期限内に納付しない場合は本税のほかに、不納付加算税や延滞税など余分な税金を納付していただくことになりますのでご注意ください　―厚木税務署―

◆年末調整・法定調書に関する説明会

▷とき・ところ＝①11月24日（木）午後1時～4時、市立中央公民館　②29日（火）午後1時～4時、厚木労働センター　▷内容＝昭和58年分の給与所得の年末調整の仕方と、給与支払報告書や法定調書の書き方についての説明（①②とも内容は同じ）
▷注意＝源泉徴収事務担当の方は必ず出席を　▷問い合わせ＝厚木税務署法人税第2部門（☎21・3261）。

◆国・県・市合同相談を開設

市民のみなさんの暮らしや生活環境を良くしていくため、国・県・市では行政に対する要望、苦情のほか、相続、土地建物の売買、相隣関係などの心配ごとや悩みごとについて総合相談を開設します。お気軽にご利用ください。

▷とき・ところ＝11月25日（金）午前10時～午後4時、市立中央公民館　▷相談内容＝税金、交通・防犯、道路、下水道、ゴミ・し尿、電話、公害、年金、教育、登記・宅地建物、法律・人権、交通事故、国・県・市政一般について　▷主催＝神奈川行政監察局、神奈川県、海老名市　▷問い合わせ＝県央地区行政センター県民部県民課（☎24・1111　内線217）か秘書広報課。

◆枯れ草の刈り取りを

市消防本部では、枯れ草火災を防ぐため枯れ草の調査を行い、所有者に刈り取りをお願いしています。

市民のみなさんの所有地または管理地またはに枯れ草が茂っている所がありましたら、早急に刈り取りをして下さい。

▷問い合わせ＝消防本部（☎31・0355）

県立海老名青少年会館　☎31・9787

申し込み・問い合わせは必ず県立海老名青少年会館へ。毎週月曜休館日。

○クリスマスの飾りを作ろう
12月17日（土）午後2時～4時　▷内容＝クリスマスの飾り作り　▷対象・人員＝小学3年生以上30人、申し込み制。12月4日から受付。

第11回子供名画劇場（少年少女のつどい）

キャプテン
モシモシ百万年
―入場無料―

○少年少女のつどい（名画劇場）
とき・12月18日（日）、午前10時～正午…市立中央公民館、午後2時～4時…県立海老名青少年会館　両方とも定員100人／対象・小中学生／申し込み・12月4日から電話で各会場へ／申し込み先・市立中央公民館（☎32・3231）、県立海老名青少年会館（☎31・9787）。

仲秋の問い

お母さんが作った世界にたった一冊の本

海老名手作り絵本サークル

絵本を通じて会員同士の交流も深まります

自分でストーリーを考え、それに合わせて絵と文を作り、装丁する。一人三役も四役もこなす絵本の手作りは、大変むずかしそうだ、と感じたが、「出来上がりを気にしなければだれにでもできます。私も絵を描いたり、文章を書いたりする経験は全くなかったのですが、なんとか教わりながら作ることができました」と海老名手作り絵本サークル（会員12人）幹事の浜田静枝さん（本郷、43歳）は話す。

今年の二月に市立図書館主催の手作り絵本講習会が開かれた。参加者有志が講習会終了後も勉強を続けたいと同サークルを四月に結成した。現在、月一回毎月第二木曜日午前十時から正午まで、古川日出夫さん（絵本作家、鎌倉在住）を講師に迎えて市立中央公民館で勉強会を開いている。会員は若い主婦が多くく、ほとんどが初心者。

絵本の製作は、まずストーリーを考え、文章を書く。次に何ページにするかを決め、絵を書く。そして製本をする。これだけの作業だが、やはり絵と文章のアイデアを考えるのがむずかしいそうだ。また、絵本を読む人の年齢に合わせて絵と文を作ることも大切だそうだ。

絵本の内容は、童話を創作する人、子供の生い立ちや身の回りのことを書く人、市内に残っている昔話を絵本にする人とさまざま。こうして完成した世界にたった一冊の本を最初に読むのは、それぞれ子供たちである。

「子供たちの絵の批評はなかなか厳しいです。でも、喜んで何回も読んでくれます。手作り絵本の良い点は、絵本を通じていろいろなことを子供たちに教えることができ、家族の語らいの場が増えることです」と浜田さんは話す。

サークルでは、これから作品の展示や会員の募集など活動を活発にしたいと考えている。絵本作りは、家庭で少しの時間を利用してできる。あなたも挑戦してみてはいかがですか。申し込みは、浜田さん（☎38・1五七八）まで。

12月の文化会館

日	内容	開演	終演	入場方法	主催者
4(日)	長編アニメーション「はだしのゲン」	10:00 12:30 14:30	11:30 14:00 16:00	前売り 700円 当日 900円	海老名親と子のよい映画を見る会 31－5354
10(土)	馬部雄進&魅惑のギターコンサート	19:00	20:45	一般999円 小学生以下500円 身障者・老人無料	馬部ギター教室 32－7203
11(日)	混声合唱団風雅 第1回演奏会	13:30	16:00	450円	混声合唱団風雅 32－1083
12(月)	海老名市わらび座公演	18:30	20:30	当日一般2,800円 中高生1,800円 小学生1,500円	わらび座と共に文化をひろめる会 31－5243
17(土)	ピアノ発表会	14:30	18:30	自由	小宮道江 31－2876
18(日)	自主事業 花房晴美 クリスマス・ピアノ・リサイタル	14:00	16:00	A席 1,500円（学割 800円）B席 1,000円（学割 500円）	市文化会館事業協会 32－3231

○問い合わせは主催者に。○主催者の都合で変更になる場合があります。○12月の休館日は、6・13・20・27・28・29・30・31日です。海老名市文化会館（上郷476-2 ☎32・3231）

プレイ・ガイド

クリスマス・ピアノ・コンサート

花房晴美

―好評前売り中―

とき・12月18日（日）午後2時開演／ところ・市文化会館／入場料・A席1,500円 B席1,000円（学割A席800円　B席500円）＝全席指定／主催・市文化会館事業協会（☎32・3231）。

新春第5回海老名寄席

（特選名人会）
江戸家猫八　片岡鶴太郎
林家木久蔵　三楽亭楽太郎

とき・昭和59年1月22日（日）午後2時開演／ところ・市文化会館ホール／入場料・A席1500円、B席1000円（全席指定）／前売開始・11月20日（日）午前9時から、電話予約は午後1時から／主催・市文化会館事業協会（☎32・3231）。

◇　◇　◇

情報コーナー

市役所　ところ　〒243-04 海老名市国分155　もしもし　31・2111(代)

相談

◆市民相談室

<12月の日程>
▷法律＝7日（水）・14日（水）・22日（木）
▷登記＝8日（木）
▷年金＝20日（火）
▷宅地建物＝17日（土）

場所は市役所相談室。時間は午後1時～4時、ただし7日の法律は午前10時～午後4時まで、14日と22日の法律は午後1時～3時まで、年金は午前10時から午後3時まで、宅地建物は午前9時から正午までです。

▷一般相談
日曜と祝日を除く毎日午前8時半～午後5時（土曜日は正午まで）、秘書広報課（市民相談担当）。

一般相談は電話でも受けつけています。33・4100番へ電話を。

◆高齢者の職業

毎週月曜日～土曜日（祝日は除く）午前9時～午後4時（土曜日は正午、12月29日以降は休館）、市立総合福祉会館内市社会福祉協議会　▷対象＝おおむね65歳以上の方　▷内容＝職業相談・生活相談　▷相談員＝高齢者職業相談員　▷問い合わせ＝市社会福祉協議会（☎31・4122）。

◆青少年相談所

日曜・祝日を除く毎日午前9時～午後4時（土曜日は午前11時まで、29日以降は休館）、市立図書館　▷内容＝青少年に関する悩みごと　▷相談員＝専門相談員　▷対象＝20歳未満の本人、または保護者の方　▷問い合わせ＝青少年相談所（☎32・1011）。

◆教育相談・就学相談

12月3、10、17、24日（土）午前9時～11時、教育委員会指導室　▷申し込み・問い合わせ＝事前に電話で教育委員会指導室。

◆ボランティア相談室

ボランティアの派遣を希望する方やボランティア活動をしようとする方のための相談です。お気軽にご相談ください。12月29日以降は休館

▷相談日＝毎週水曜日午前10時～午後4時、市社会福祉協議会（市立総合福祉会館内☎31・4122）。

催しもの

◆神奈川蚕業まつり

11月25日（金）午前9時～午後3時、県蚕業センター（中新田2010）▷内容＝県養蚕共進会（褒賞授与式、出品物展示）養蚕まつり（農産物即売、模擬店、カラオケ大会）養蚕技術・伝承技術の交流など　▷入場自由　▷問い合わせ＝県蚕業センター（☎31・2821）。

◆園芸教室（県立農業大学校で）

▷とき・ところ＝12月10日（土）午前9時半から県立農業大学校（杉久保2006）
▷内容＝正月用寄植盆栽の作り方　▷人員＝50人先着順　▷費用＝材料費約3000円
▷申し込み＝電話で県立農業大学校（☎38・5274）。

◆版画のつどい（年賀状を作ろう）

▷とき・ところ＝11月27日（日）午後1時半～4時半、市立中央公民館　▷内容＝スチレン版画で年賀状を作ろう　▷対象・人員＝小学1～6年生、60人先着順　▷費用＝無料　▷用意するもの＝筆記用具　▷申し込み＝社会教育課。

◆都市緑化をすすめる県民の集い

11月23日（水）午後0時半～2時45分、県立県民ホール（横浜市中区山下町3）◁内容＝都市緑化運動の名称発表、講演、みどりのわ太鼓実演など　▷主催＝かながわ都市緑化推進協議会　▷その他＝ベニカナメモチ、ムラサキシキブなどの苗木を無料配布　▷申し込み＝電話で県庁自然保護課内かながわ都市緑化推進協議会事務局（☎045・201・1111　内線3826）。

◆郵便局からお知らせ

郵便局では、小包郵便物の包装が簡単にできる小包包装用箱を販売しています。種類は大（39×29×20㌢㍍）150円、中（32×23×15㌢㍍）110円、小（23×17×11㌢㍍）80円です。どうぞ、ご利用ください。

また、お年玉つき年賀ハガキや、寄附金つき絵入りハガキ（3種類）も発売していますので、売り切れないうちに早めにお求めください。

市役所から

◆建物を取り壊したから届け出を

建物は建築したり、取り壊したとき、表示登記やその変更・滅失の登記が義務づけられていますが、未登記の建物が数多くあります。

市では、登記所からの通知や市内巡回で毎年1月1日現在、建物を所有している方に固定資産税を納めていただいていますが未登記の建物が取り壊された場合は確認が困難です。

昭和58年中に建物を取り壊された方は、昭和59年度の固定資産税が課税されません。余分な税金を納めないために、ぜひご連絡ください。▷問い合わせ＝資産税課。

12月であんない

問い合わせは、予防保健課
〔243-04 海老名市国分155 ☎31－2111(代)〕

献血

①7日（水）海老名駅東口②21日（水）市役所玄関前③28日（水）海老名駅東口、①②③とも午前10時～正午と午後1時～3時。

検診

〈胃がん〉
12月16日（金）午前8時半～11時半＝健康センター1　▽対象＝40歳以上の方、妊娠中の方は受診できません　▽受診料＝500円　▽人員＝50人　▽申し込み＝電話で予防保健課。

〈乳がん・子宮がん〉＝集団＝
来年3月1日（木）午前10時～正午と午後1時～3時、健康センター1　▽対象・人員＝30歳以上の女性、午前・午後各100人　▽受診料＝1000円（子宮がんのみ400円、乳がんのみ600円）▽申し込み＝ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号、「婦人がん検診」（什方だけを希望される方は、乳がん・子宮がんの別を明記）を記入し、予防保健課へ。

※70歳以上の方、生活保護を受けている方、65歳以上70歳未満で身体に障害者手帳3級程度以上、市民税の非課税世帯に属する方は、がん検診料金免除申請により受診料が無料となります。

一般診査

一般診査（今までの循環器検診と老人健康診査を含む）が市外（綾瀬市）の百表の医療機関で受けられるようになりました。
▽対象＝40歳以上の方　▽受診料＝無料　▽実施期間＝11月30日まで　▽検診内容＝問診、理学的検査、血圧測定、検尿、身体計測。

健康センター

◆母親教室
5日（月）～9日（金）午後1時～1時半受付　▽4～8か月の初妊婦を対象に5日間で1コース　▽出産の不安を取り除き、健やかな赤ちゃんを育てるための講義を行います。

◆健康相談
12日（月）午前9時半～10時受付　▽血圧測定、肥満、栄養、日常生活など心身の健康に関する相談に応じます。
※老人保健法の健康手帳をお持ちの方は持参してください。

綾瀬市内健康診査（一般診査・精密診査）実施指定医療機関（順不同）

医療機関	所在地	電話
茂木産婦人科医院	綾瀬市深谷3,471－7	0467(78)0300
綾瀬厚生病院	〃　深谷3,815	(77)5111
共ケ岡診療所	〃　大上475	(78)1598
緒方医院	〃　寺尾中3－10－13	(78)1555
市川医院	〃　寺尾南1－6－17	(78)7311
菅原医院	〃　小園1－117	(77)0885
熊倉整形外科病院	〃　深谷4,176－3	(77)7111

◆7か月児健康相談
23日（金）午前9時半～10時受付　▽58年4月生まれの乳児を対象に、育児相談、赤ちゃん体操、家族計画相談。
◎申し込みは、いずれも当日直接会場へ。

健康相談

5日（月）午後1時半～2時受付、杉久保自治会館　▽鏡面予防の食事、血圧測定、日常生活などの必身の健康に関する相談に、栄養士、保健婦が応じます。※老人保健法の健康手帳をお持ちの方は持参してください。

1歳6か月児健診

15日（木）午後1時～2時、厚木保健所海老名支所　▽対象＝昭和57年6月生まれの幼児。

大猫の巡回収集

12月6日（火）午前中に、市内7か所でイヌとネコの巡回収集を行います。希望者は団蕗持参して収集場所へ。各場所10分間ずつ。（　）内は収集車到着時間。猫の場合は必ず麻袋に入れてください。
①上今泉児童館（9時20分）②柏ケ谷児童館（9時45分）③国分寺台児童館（10時15分）④市役所（10時30分）⑤中新田公民館（10時50分）⑥市農協南支所（11時10分）⑦門沢橋児童館（11時30分）
▽問い合わせ＝県動物保護センター（☎0463・58・3411）。

◆子供の整形外科相談
1日（木）午後1時～2時
▽内容＝身体障害のある乳幼児の早期発見、治療と療育指導
▽対象＝18歳未満で特に心配のある方。
厚木保健所
海老名支所
（☎32七九二）

◆離乳食講習会
2日（金）午前9時半～10時受付　▽3～6か月児を対象に離乳食の作り方、与え方の注意。

◆幼児歯科相談
21日（水）午後1時～2時半
▽対象は1歳7か月～2歳11か月の幼児。歯ブラシを持参してください。

◆3か月・3歳児健康診査
①3か月児健診は、22日（木）午後1時～2時　▽対象＝58年8月生まれ　②3歳児健診は、16日（金）午後1時～2時　▽対象＝55年11月生まれ。

◆精神衛生相談
予約制　▽心の悩み、精神障害者の治療と社会復帰の相談を精神科医・ケースワーカーが応じます。お気軽にご相談ください。

◆健康増進相談
総合的健康チェックを行います。▽予約制有料。2日間コース　▽対象＝20歳～39歳の方
▼申し込み・問い合わせは、厚木保健所海老名支所へ。

まんまる赤ちゃん

塩田哲裕（しおだてつひろ）くん
十か月＝国分
塩田幸太郎・純子夫妻の長男
ちょっといたずらさんで、食器だなによくよじ登ります。ご近所のおそさんを見つけると「アー」とか「オイ」とか声をかけるので、みんなの人気者になってます。健康で心の豊かな人になってほしい。

◇平日夜間急患診療◇

高座医師会のご協力により医師会会員の診療所および病院が当番制で行います。当番医は、電話で紹介します。一次救急医療の受付は、午後9時半までです。
診療時間・一次救急医療　午後7時～午後10時
二次救急医療　午後7時～翌日午前8時
電　話・テレフォンサービス（32）0108
または（32）0119

◇休日夜間急患診療◇

医師会のご協力により行います。当日の在宅当番医は電話で紹介します。
診療時間・午後6時～午後9時（受付時間は8時半まで）
診療科目・内科、小児科
電　話・市役所（31）2111
テレフォンサービス（32）0108
（32）0119

◇休日急患診療所◇

医師会のご協力により休日・祝日診療を行いますのでご利用ください。時間外の診療は受けられません。

ところ	診療受付時間	でんわ	診療科目
さつき町41番地（海老名市健康センター内）	午前9時～11時半 午後2時～4時半	(31)1912	内科・小児科

※保険証、診察料を忘れずに。
この急患診療は救急患者に備えて設けられたものです。急患でない限り平日に受診しましょう。

電話番号はおまちがえのないように

公民館だより

市立中央公民館
上鳶四七八ノ一（☎32三三三一）

公民館は広いな!!
市内の児童が次々と見学に

三年生から郷土学習を始めた四年生は人々の生活の向上を図るための、市の公共施設と人々との生活のつながりを学習しています。その一環として、九月十九日、今泉小学校のみなさんの見学を最初に、次々と市内の四年生が訪れています。

初めて訪れた子、何度か来て思い出のある子とさまざまですが、見学の後の説明会では熱心にメモをとる子もいて、公民館でも良き理解者を得て、頼もしく思っています。

☆見学を終えて
僕は、公民館を見学して、公民館は広くて、重要な役割をしていると思いました。だって公民館には十一部屋もあり、面積も千五百三十一・二一平方㍍もあります。
海老名市の中心にもなっている中央公民館、広くて素晴らしい公民館、僕たちは、そういう公民館がほしいと願っていたのです。
僕は公民館へ入るのは初めてです。これからは、この海老名市の人達が大いにこの公民館を利用しこほしいと思いました。
柏ケ谷小学校四年　吉野正記

年賀状を彫ろう
親子版画教室に参加を

年賀状をお子さんと一緒に彫ってみませんか。
▽とき・ところ＝十二月三日（土）、十日（土）午後二時～四時、市立中央公民館　▽内容＝版画を彫り年賀状を刷る　▽対象＝小学校四年生以上の児童とその親十二組　▽費用＝材料費は自己負担　▽用意するもの＝彫刻刀、新聞紙、鉛筆、布きれ　▽申し込み＝十一月十六日から電話で市立中央公民館。

狐狸庵大いに語る

十月八日、文化会館で行われた講演会は、朝から雨足が心配されるような日でしたが、会場は遠藤先生のお話をお聞きしようとする市民でいっぱいになりました。

先生はユーモアを交えながら話を進められ、狐狸庵としての遠藤周作、また一方での中心に多角度人生論について話され、さらりとした話し方の中にも考えさせられることの多かった講演会でした。

☆受講者の感想☆
遠い存在と考えていた遠藤先生から、直接お話を聞くことができ、そして講演会が終って会館を出た時のさわやかな気持ち、肩の荷がすーっと引き、悪（つ）き物が落ちたような心の軽くなる思いでした。

生きる姿勢の大切さを痛感すると共に、何か開放された気分になりました。今の時代ほど、生き方が難しい時代はないような気がします。これからも生き方などを考えさせてくれるような講演会を希望します。
（国分寺台　安斉郁子）

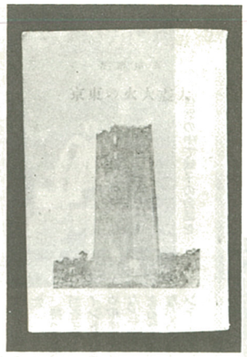
考え込むほど難しい話でもなく、一般大衆に理解しやすく、そして少しは心にとめて考えてみようと素直に受けいれられる内容でした。

ひとつの殻にこもって、こうあらねばならないと肩ひじをはった生活が私にもありましたが、先生のお話にもありましたようにリラックスするところはして、自分を伸ばしはめてこまず、人間として豊かに生きてゆきたいと思います。
（大谷　堅）

関東大震災の本を寄贈
関根さん（中新田）が「大震大火の東京」

十月二十八日、市に一冊の本が寄贈されました。題名を「実地踏査　大震大火の東京」（誠文堂刊）というこの本は、大正十二年九月一日の関東大震災の直後の東京・横浜の状況をつぶさに調査し、写真、被災地区を示す地図、克明な被害状況から行政当局の対応ぶりまでがB六判、二百ページにわたって記されています。

関根さん



寄贈された「大震大火の東京」

発行されたのが震災から二十三日後の大正十二年九月二十四日というのも当時としては異例の早さで、関東大震災を知る貴重な資料として国立図書館や全国市有物件共済会の防災専門図書館などでも同じ本を保存しています。

この本を寄贈したのは関根幹雄さん（中新田一八三、八十二歳）で、関根さんは震災当時、東京市芝区四国町で雑穀商を営んでいましたが、震災で家が傾くなどの被害を受けながらも火災は免れ、すぐに趣味のカメラで街の様子を撮影に出かけたそうです。

街へ出てみると、その惨状にはただ驚くばかりで夢中でシャッターを切り続けた。今、関根さんの当時のアルバムには、真っ黒に焦げた被災者の死体が累々と横たわるものなど生々しい写真が保存されています。そうするうちにこの災害が空前の被害をもたらしたものであることを痛感し、何か記録を、とこの時の写真を大切に保存するとともに、今度寄贈された本を当時六十銭で購入したということです。

今年の八月、家の中の物を整理していて出て来たこの本を、「市で何かのお役に立てば」と当秘書広報課に持ち込んだ関根さんは、「今度あのような震災が起きたら被害はあんなものでは済まないでしょうね」と語り、当時を振り返って感慨深そうでした。

海老名むかしばなし
第79話　往来手形

昔、国分村の百姓、兵左衛門さんは、常々、諸国の神社仏閣巡礼の旅をしたいと心ひそかに願っていた。文化十一年（八一四）春、いよいよその機が熟し、時の名主忠左衛門に往来手形の発行を頼んだ。それは、徳川幕府が治安維持のため、全国五十余か所に関所を設け、旅人取締まりを行っていたからである。

つまり手形は身元証明書兼関所通行許可証なのである。一般庶民のものは檀那寺（ごんなでら）か名主が発行した。この時交付された手形を読み下しフ文にすると次のようである。

手形証文之事
一相州海老名郡国分村百姓兵左衛門此度心願に付日本神社仏閣領巡仕り度候　之に依って所々御関所相違無く御通し遊ばされて下さるべく候　若し暮に及び候はば一宿願上げ奉り候
此者儀代々禅宗にて同村龍峰寺旦那にまぎれなく御座候
万一此者儀病死仕り候はば其村方々御作法を御取置下さるべく候　其節わざわざ此方へ御沙汰に及び申さず候　仍って往来手形証文件の如し
文化十一年戌三月　日
堀田相模守領分
相州高座郡国分村
名主　忠左衛門㊞

所々御関所様
村々御名主中

「日が暮れて困っていたら一晩泊めてやってください」とは念が入っているが、「万一病死したらその村の御定法によって埋葬してやってください。その際当方へ沙汰をされなくても結構です」というくだりはいたく心を打たれるものがある。兵左衛門さんはこの手形を残しているから、無事念願を果たして帰郷したのであろうが、その逆の事例がある。

田辺忠義氏（国分）所蔵の往来手形

明治四年十一月中旬、国分のとある農家へ一人の六部（ろくぶ＝諸国の社寺を巡拝する行者）が来たに震えながら、「気分が悪いから火にあたらせて！」とやって来た。

「それはお困りだろう」と下男が裏に火をたいて暖をとらせているうち、急に変がきたころと不審の客になってしまった。所持の手形から尾州（愛知県）中島郡一ノ宮村の人と分かり、その家では手厚く葬り、供養した。

関所は明治二年、手形は明治八年に廃止になったが、それにつけても前期の往来手形はいかに封建時代であったとはいえ非情な死への何と悲しいパスポートであったことでしょう。
（牧田武治氏＝国分＝から寄稿されたもの）

力作がズラリ
小中学生の統計グラフ展

力作がいっぱいの統計グラフ展

五十八年度県統計グラフコンクールの入選作品五十九点と同コンクールに応募した市内小中学生の作品七十三点を展示した作品展が十月十九日から二十四日まで二チイ海老名市文化ホールで開かれました。

同展は、統計に対する関心を高めようと海老名統計調査員の会（丸岡悦子会長、会員30人）と神奈川県統計協会が共催したものです。

作品は、小学生が統計の対象を「にわのえさ台に来たすずめのかず」などと大人が思いつかない発想の作品が多く、中学生は県や市の統計数字を使って、ポスター的に上手に表現するものが多く展示されました。

市内の小中学生で県のコンクールに入選したのは、中新田小一年の吉村智子さんだけで、クラスのクラブ二十四人からアンケートを取り、好きな果物別に好きな人の数を表わした「すきなくだもの」という作品が佳作に入りました。

なお、海老名統計調査員の会では、市内小中学生の作品の中から優秀な作品七点を選び、表彰しました。

それらの作品は、次の通り。
（敬称略・順不同）
「にわのえさ台に来たすずめのかず」高橋博之（大谷小二年）、「社家駅でおりたん調べ」佐竹真理子（門沢橋小四年）、「ぼくの家の電気とガス」伊藤新（大谷小四年）、「海老名の〇〇」高橋章浩（大谷小五年）、「神奈川県の交通事故」小山誠・・・裏谷克美（共作、大谷中一年）、「海老名市の産業別・就業人口の移り変わり」吉藤美奈子・堤志暢（大谷中一年）、「海老名市の税金」今村享史（大谷中二年）

年末たすけあい募金
12月1日から

今年も12月1日から年末たすけあい募金が始まります。みなさんの温かいご協力をお願いします。

サイレンを吹鳴
11月26日～12月2日
秋の全国火災予防運動

11月26日午前7時、消防署、消防団では「秋の全国火災予防運動」の実施を多くの方々にお知らせするため、市内各警報施設でサイレンを吹鳴します。火災とお間違えのないようお願いします。

点検は　防火のはじまり　しめくくり

今月26日から12月2日まで「秋の全国火災予防運動」が行われます。

今年11月1日現在の市内の火災発生件数は22件で、死者1名、負傷者8名、損害額6374万2千円となっています。

これらの火災のうち、建物火災は18件でさらにそのうち14件が一般住宅を中心としたもので、火災全体の63.6％に達しています。このような住宅火災を防止するため、みなさんひとりひとりが火気の安全な使用方法、消火器の扱い方などを身につけておくことが大切です。この運動期間中、お宅の防火態勢について再点検をお願いします。

なお、この期間中、市消防本部・消防署、消防団では次のような活動を行いますのでご理解とご協力をお願いします。
○防火ポスターを広報掲示板、公共機関、事業所などに掲示します。
○市内小中学生から募集した防火ポスターを市役所などに展示します。
○空き地など枯れ草調査と刈り取り指導を実施します。
○防災行政無線、広報車、消防車などを使い、火災予防広報を行います。
○市内各地区で消火器の取り扱い説明会と消火実験を行います。
○建物などの立ち入り検査を実施します。

フォトピックス

自然の中で親子の会話を

オリエンテーリング

柏ヶ谷中学校区の親子が

十月三十日、柏ケ谷中学校区青健連（山田孝徳会長）主催の恒例の「柏ケ谷中学校区親と子のオリエンテーリング」が開催され、同学区の親子約五百人が参加しました。

肌寒い天気にもかかわらず、リュックを担いで地図を手にした参加者は元気いっぱいでA・B両コースに別れ、柏ケ谷中学校を午前十時に出発。途中十一か所のチェックポイントで確認を受けながら、ひさご塚を折り返し点に再び柏ケ谷中学校へ帰って来る全長八・四キロのコースを踏破しました。

持って来た弁当をチェックポイントの温故館や相模国分寺跡などで食べ、深まる秋を味わいながらのオリエンテーリング、親子の会話も自然に生まれて、有意義かつ楽しい一日となったようです。

今年で六回目のこの催し、年々参加者が増加し、来年はもっと多くの参加者を迎え、もっと楽しいコースを、と関係者は張り切っていました。

江ノ島で交流会

視覚障害者とボランティア

無病息災を…（竜口寺で）

十月二十五日、恒例の視覚障害者とボランティアの「秋の交流会」が行われ、視覚障害者の会「山彦の会」（金井昭二会長）の会員十五人と点訳ボランティア「みのりの会」（森京子会長）と録音ボランティア「矢車の会」（榎本芳枝会長）の両会員二十三人が秋の一日、江ノ島などの観光を楽しみました。

当日は天気が良く、富士山を背景にした江ノ島などのすばらしい景色をボランティアが説明すると、視覚障害者のみなさんはひとつひとつかみしめるようにうなづいていました。

旧街道の杉並木を歩く

晩秋の箱根路を歩く

第7回親子歩こう大会

晩秋の箱根路を歩こう、と「第七回親子歩こう大会」が十月三十日に行われました。

この催しは、市教育委員会と市体育指導員連絡協議会が共催したもので、広報などで参加者を募ったところ、大人五十七人、子供六十八人の計百二十五人の親子が参加しました。

市役所から箱根まではバスで行き、旧街道甘酒茶屋から精進ケ池まで全長六・五キロの道を約三時間かけて全員が歩き通しました。

約四十組の親子が昼なお暗い杉並木の石畳みを歌を歌いながら歩いたり、昼食をとった恩賜箱根公園で縄飛びをしたりして、大自然の中の一日を心ゆくまで楽しみました。

収穫はモチ米6俵

門沢橋小で稲刈り

市立門沢橋小学校（山口健二校長、児童数九百五十六人）の子供たちが、十月二十四日、自分たちで丹精込めて育てた稲の刈り取りを行いました。

ぼくらの育てた稲だ

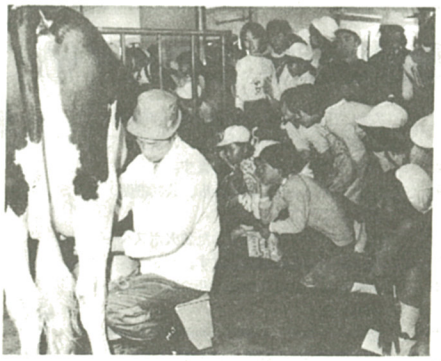
さわやかな秋晴れに恵まれたこの日、同校東側の水田で、一年生から六年生まで順番に全員で稲刈りをし、PTAの協力で持ち込まれたハーベスタで脱穀しました。

収穫されたのはモチ米六俵で出来ばえも良く、このうち三俵で年末にモチつきをする予定。残りの三俵は売って稲作のために子供たちが使う農耕器具などをそろえるそうです。

門沢橋小学校では、今年から従来の「体験稲刈り」だけでなく、苗づくりから田植え、刈り取りまで一貫して子供たちに実行させましたが、PTA会員の適切な指導・助力もあって、子供たちには良い理科の学習になっていると好評です。

家畜と親しむつどい

県畜産試験場で多彩な催し



牛の乳しぼりに興味津々

十月二十七・二十八日の二日間、県畜産試験場（本郷三七五〇、林　功場長）で、「家畜と親しむつどい」が行われました。

屋久島ヤギやイノブタと遊べるミニ動物園、子ブタレース、トラクターの運転体験コーナー、ヒヨコのプレゼントなど、数多くの催しが用意され、会場は小学生や家族連れでにぎわいました。

また、牛乳の無料配布、たい肥の無料配布、新鮮な卵の即売なども行われ、さらに卵や肉の鮮度の見分け方を実物や写真で解説するコーナーもあって家庭の主婦に好評でした。

畜産試験場では、意外に知られていない県内の畜産業を知ってもらうと同時に昔と違って周囲にあまり動物がいない子供たちに家畜と親しんでもらうためにも、来年も開催する、としています。

スポーツ・ブック

三世代が楽しむ

市民ゲートボール大会

十月二十三日、東柏ケ谷近隣公園で市民ゲートボール大会が開かれ、市内各地区から三十七チームが参加しました。

同大会は、ゲートボールを通じて世代間の交流を図るため行われたもので、チームの中に六十歳以下の選手が二人以上加わっていなければならない条件があるのが特徴です。

初めての大会にもかかわらず会場には最年少の宇井光太郎君（国分寺台一丁目、10歳）から最年長の相原甲子郎さん（門沢橋、94歳）まで、さまざまな年代の選手約三百人が、なごやかな雰囲気のなかにも、きびきびしたゲームを繰り広げました。

結果、国分Aチームを19対13で破った上郷チーム（佐藤勇治郎監督）が優勝を飾りました。

うん、なかなか上手だね

上郷が優勝

◇市民ゲートボール大会（10月23日、東柏ケ谷近隣公園　37チーム参加）

▽1回戦

中野 19－10 国分寺台1A
国分C 14－9 門沢橋A
国分B 17－10 国分寺台2
中新田 9－7 柏ケ谷2
東柏ケ谷3 21－9 大谷B

▽2回戦

中野 19－10 下今泉
河原口 23－11 市職員
国分C 14－11 国分寺台1C
門沢橋B 10－6 国分
河原口A 17－8 今里A
国分D 23－11 中心荘A
上今泉柏寿会 25－10 国分B
東柏ケ谷4 18－11 国分寺台1B
上郷6 13－6 中新田D
杉久保A 10－10 河原口B
東柏ケ谷C 18－12 今里A
大谷3 21－9 中心荘
東柏ケ谷5 23－7 杉久保B
社家 13－13 上今泉B
（同点決勝の末、社家の勝ち）

▽3回戦

中野 12－9 河原口
上今泉柏寿会 13－8 国分
国分A 21－9 河原口D
門沢橋B 13－8 河原口C
東柏ケ谷6 20－13 東柏ケ谷4A
東柏ケ谷3 14－6 大谷C
上郷 11－5 杉久保A
東柏ケ谷5 17－6 社家B

▽4回戦

上今泉柏寿会 25－5 中野
国分A 15－13 門沢橋
上郷 21－13 東柏ケ谷B
東柏ケ谷3 16－8 東柏ケ谷6A

▽準決勝戦

国分A 20－13 上今泉柏寿会
上郷 12－8 東柏ケ谷3

▽3位決定戦

東柏ケ谷3 14－10 上今泉柏寿会

▽決勝戦

上郷 19－13 国分A

◇第2回ロードレース大会（10月16日　大谷中前スタート）

▽一般男子10キロ

①迎山幸也（厚木リコー）…34分15秒
②高山信行（上今泉5丁目）…35分32秒
③長尾治（雪印）…35分35秒

▽高校10キロ

①北沢純（海老名高1年）…38分26秒
②進藤剛志（同）…40分51秒
③井出智広（同）41分37秒

▽一般女子5キロ

①渡辺ちか（海老名高1年）…25分38秒
②和田綾子（同）…25分39秒
③佐藤直美（同）…25分54秒

▽オープン5キロ

①海老原栄一（海老名高1年）…19分4秒
②越川誠司（同）…19分31秒
③内山健吾（同）…19分54秒

▽中学男子5キロ

①谷口康夫（海老名中3年）…20分8秒

12月の自動車文庫

利用方法 ＝ 貸し出しカード記入式。1人2冊まで。
貸し出し期間30日以内。雨天中止。

日＼時	午後2時～午後3時	午後3時30分～午後4時30分
1(木)		※門沢橋児童館
6(火)	東柏ケ谷四丁目自治会館	柏ケ谷児童館 ※柏ケ谷第二児童公園
7(水)	河原口児童館	上郷児童館 下今泉公民館
8(木)		※上今泉児童館
9(金)		※県央交通公園 ※国分寺台第四児童公園
13(火)	今里公民館	社家児童館 大谷真鯨広場
14(水)	新宿公民館 中野公民館	居合公民館 海老名市農協南支所
15(木)		※門沢橋児童館
20(火)	東柏ケ谷四丁目自治会館	柏ケ谷児童館 ※柏ケ谷第二児童公園
21(水)	河原口児童館	上郷児童館 下今泉公民館
22(木)		※上今泉児童館
23(金)		※県央交通公園 ※国分寺台第四児童公園

※印は午後3時～午後4時30分

善意のいずみ

市立総合福祉会館に次の寄付がありました。ありがとうございました。

富士コカコーラボトリング㈱…屋上ゲートボール場の日よけ用パラソル三点セット。